

みなさん、おはようございます。

今日は、昨日閉会をむかえたパラリンピックについて話をします。

昨日は、素晴らしい閉会式を見ることができました。

パラリンピックは、「ちがいを認め合い、多様性の中に可能性を見出す、共生世界をめざしている」もので、「スポーツを通して人の心をワクワクさせる」ことを目指しています。

#WeThe15という言葉があります。

#WeThe15

全人口の15パーセントが何らかの障害を持っていると言われています。

世界中の人口で考えると、10億人以上です。

土曜日に国枝選手の車いすテニスの決勝を見ました。

2年生は1学期の道徳で「自分の弱さと戦え」を学習しましたね。

つらいことを乗り越えて手にした勝利に、「泣きに泣いた」とみなで喜びを分かち合っていました。

日曜日に男子車いすバスケットボールの決勝を見ました。

どちらも、手に汗握る素晴らしい試合でした。

そこには、車いすだから、とか、障がいを持っている人ががんばっている、とか

そういった気持ちはいっさいなく、

ただただ、素晴らしい真剣勝負のアスリートの人たちのパフォーマンスに

強く心を動かされました。

インタビューで、車いすラグビーの選手が「このコート内なら思う存分動ける」と言っていた聞きました。水泳選手が「水の中でなら自由に動ける」というインタビューも聞きました。

それが、スポーツの世界だけでなく、日常にひろがっていけたら、みんなが、生きやすい世界になるんじゃないかと、私は思います。

3年後はパリでオリンピックが開催されるので、パリの様子が写されていました。

最後に、エッフェル塔（東京タワーのような感じ）が映し出されたときに、CGで4本の柱のうち1本が、義足の形をしていました。

陸上選手が足に装着している弓形のものです。

みなさんも、走ったり飛んだりしているのを見たことがあると思います。

科学技術と優れたデザインが、共生社会をめざす後押しをしてくれます。

「機能性があってカッコいい」デザインは世界を救うと思います。

みなさんが、大人になった頃、科学技術やデザインがさらに進化して、どのようなパラリンピックがおこなわれているのか、たいへんたのしみです。

しばらくは、ネットの記事などにパラリンピックの話などが出ると思います。

ぜひ、目を通してほしいと思います。

